

「地域自治組織のあり方」～地域自治の持続に向けての道筋

各区が課題解決に取り組むなかで、段階的に大きな枠組の組織についても検討していく

・現時点で必要なこと

一定の地域の設定（区域）

地区担当職員の充実

情報提供

区役員の任期、会計年度の統一等

区の標準化

区への財政的支援

・今後の取組み

市民参加による持続可能な区のあり方を検討

する専門的な検討組織

各区の特性の把握、今の状況を分析し、状況

に合わせた支援、対策の検討

各区からの課題と行政側から見た課題のすり

合わせ

地域リーダーの発掘、育成 ➡ 地域の発展に

つながる。

- 区 一定の地域を設定する必要
- 区担当職員
情報提供
- 区の持続 持続可能な区のあり方の検討
専門的な市民参加による検討組織
- 区の標準化 任期・会計年度の統一
共通課題の解決に向けた取組み
- 区への支援
財政的
継続的な相談体制の整備
- 区と行政の協力体制
持続可能な組織づくり
条例第8条、9条の規定に沿って

←
区の自主性に任
せておいては、な
かなか進まない

- 各区で解決できない課題を行政にあげていく。
取りまとめる。
- 区の組織を民主的にしていく必要性
（役員の男性比率高い）
- 各地区の特性を把握 それに合わせて支援
ひとつの区では解決できない課題を、地区ブロック内で
相談することで、解決につながることもある。
- 各区の今の状況を分析し、今後の対策を考える。
行政側から見た課題と各区からの課題のすり合わせ
- 地域リーダーの育成 → 地域の発展につながる

まずは各区が課題解決に取り組むなかで段階的に
大きな枠組みでの取組みにしていく。

区の加入
区の情報
“魅力”

所沢市
例）加入促進マニュアル

リーダーの有償制度
区の支援
↓
中間支援組織

区長の仕事
問題点の表面化

区民の高齢化・・・区費が集まらない
空き家が多い

区への加入率が低いところから視察
小諸は加入率が高い

↓
持続

若い人
転入者への働きかけ

「自治」に基づいた
区としての機能
地域による課題解決

それぞれの区に、それぞれの問題点がある